

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 日本の伝統・文化 科目 表現活動

教科：日本の伝統・文化 科目：表現活動
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組
教科担当者：磯野
使用教科書：（ ）
使用教材：（ ）
科目の目標

- 【知識及び技能】和太鼓に親しみ、基礎的な演奏技術を習得する。
- 【思考力、判断力、表現力等】より良い演奏方法を追求し、太鼓を通して自己を表現する。
- 【学びに向かう力、人間性等】集団で演奏することにより、他者と共感し自己肯定感を培う。コミュニケーションの力や生きる意欲を高める。

評価規準：		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
和太鼓演奏の技術を身に付けたか。	自己評価、相互評価から自らの課題を発見し、その課題について考察しながら演奏できたか。	仲間と協調して、前向きに演奏に取り組んでいるか。
評価方法と割合：		
【知識・技能】 全体の3分の1	【思考・判断・表現】 全体の3分の1	【主体的に学習に取り組む態度】 全体の3分の1
演奏テスト	演奏テスト	演奏に取り組む状況 振り回りの状況

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード (指導項目・内容)	知	思	態	評価の方法	実績（実施日）						配 当 時 間	評 価
								組	組	組	組	組	組		
1	4	和太鼓に関する基礎知識を理解できたか。	オリエンテーション 和太鼓の歴史・特徴 和太鼓基礎練習				下記項目について総合的に評価する。 ・和太鼓演奏の技術を身に付けたか。（知識・技能） ・自己評価、相互評価から自らの課題を発見し、その課題について考察しながら演奏できたか。（思考・判断・表現） ・仲間と協調して、前向きに演奏に取り組んでいるか。（主体的に学習に取り組む態度）								6
	5	基本の演奏技術を修得できたか。	和太鼓基礎練習												8
	6	演奏の方法を理解できたか。 意欲的に練習に取り組むことができたか。	演奏練習												8
	7	演奏の技術の上達は見られたか。	演奏練習												6
2	9	演奏をするための心構えや技術を修得できたか。	演奏練習												8
	10	お互いの良い点を発見できたか。	演奏練習												8
	11	息を合わせて演奏することでチームワークの大切さを知ることができたか。	演奏練習												8
	12	お互いの良いところを指摘しあうことができたか。	発表練習												5
3	1	人前に立つ緊張感を味わうことができたか。	発表練習												8
	2	今までに習得した演奏技術を使って、発表作品を仕上げることができたか。	発表練習												8
	3	他者の発表を真摯な態度で聴きくことで、お互いのことを尊重しあえたか。	発表と鑑賞												5